

## 土木学会 関西支部

防災の意識を高め将来の災



深さ2倍で4倍の強さ  
わずか30センチで



人口の雨  
雨の粒を再現



シールド工法  
トンネル掘削現場

# 京都大学防災研究所

## 呑龍トンネル工事見学



### 自然を体感し災害に備える！

2017年6月10日（土）、7名の生徒が土木学会関西支部主催の見学会に参加し、京都大学の防災研究所で、大雨による「水の怖さ」を体験することができました。部屋にたまった水の深さが2倍になるだけで、ドアが開けられなくなるという体験。これが地下で閉じ込められる実験なのだそうです。また、地下街へ侵入してくる水流に逆らって階段を登っていく困難さも体験。わずか20センチで、一歩進むのがとてつもなく困難になります。中川一先生のわかりやすい解説でよくわかりました。また、浸水被害の軽減に役立つ呑龍トンネルの掘削現場も見学しました。シールド工法の仕組み、すぐにかたまるセメントの実験など、興味深く体験でき、防災の意識は間違いなく高まりました。土木技術者の丁寧で緻密な仕事をもってしても1日たったの10メートル。それを何キロも進んで作るトンネル工事は本当にすごいことなんだなと実感できました。。（沼田）

土木学会関西支部 主催

京都府 協力

京都大学防災研究所 協力

西松建設株式会社 協力

